

(別紙4(2))

事業所名 グループホーム 幸せの枝

目標達成計画書

作成日: 平成 25 年 10 月 25 日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	自己番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	4	運営推進会議を活かした取組	会議を37回開催し、メンバーや内容がマンネリ化しないように、新しいメンバーの増員や会議の内容、取り組み等を検討し、今以上に、内容のある会議にしていく。	参加委員の協力を得て、ホーム運営を反映させるための、イベントや会議を、楽しい雰囲気の中で実施し、全員が参加して良かったと、実感してもらえる内容のある、運営推進会議に成長させていく。	12ヶ月
2		職員の技術力の向上を目指していく	職員の介護技術は、経験年数や資格等により格差があり、職員が、利用者に対して、介護に取り組んでも、同じサービスの提供を受けることが難しく、利用者が、戸惑うことがあるので、極力戸惑いを軽減する介護の実践に取り組んでいく。	担当者会議の中で、利用者一人ひとりについて介護の在り方を検討し、過剰なサービスの提供をしていないか、してはいけないことまで、し過ぎていないか、職員一人ひとりの介護を見極め、チェックし充実したケアの実践に取り組んでいく。	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のを記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。